

教育 かしま

第45号

発行日
令和3年3月1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 総務就学課
Tel0299-82-2911 (内線521)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

児童・生徒1人1台端末 ICT機器を活用する教育



令和3年4月より鹿嶋市内公立小中学校の児童生徒に1人1台端末（ノートパソコン）が貸与されます。

鹿嶋市では、「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興計画」及び「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき、これまでICT環境の整備等を計画的に進めてまいりましたが、国から「GIGAスクール構想（※1）」を前倒して、1年間で整備する方針変更が示されたことを受け、令和2年度中に「1人1台ノートパソコン」を整備することになりました。

今回の事業をきっかけに、学校での「学びのスタイル」が大きく変化するとともに、児童生徒のご家庭での「個人学習ツール」としての活用や、さらには、学校とご家庭との「連絡ツール」としての利用も考えているところですので、ご家庭での学習も大きく変化することが予想されます。

各ご家庭におかれましては、ICT機器を活用した教育にご理解をいただくとともに、今後、新型コロナウイルス感染症の市内の感染状況によっては、学校が休校となる可能性があります。その際には、オンラインでご自宅から授業を受ける形式となる場合がありますので、ご協力の程よろしく申し上げます。

（※1）GIGAスクール構想：1人1台ノートパソコンと、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、多様な子どもたちを取り残すことなく、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。

ノートパソコンの貸出に係る保護者へお願い

1. ノートパソコン貸出の対象

- 鹿嶋市内公立小中学校に在籍する児童生徒を対象に貸出をします。
※転校や卒業など、お子様の在籍期間が終了したら学校に返却をお願いします。

2. ノートパソコンの今後の活用について

- ノートパソコンは、資料や作品の制作など学校の授業において日常的に活用します。
- 原則、持ち帰りのため、ノートパソコンの充電はご家庭でお願いします。
（目安は90分以上です。）
- ご家庭でも使用するために、ご家庭でのインターネット通信環境を利用させていただきます。（下記の方法でWi-Fi通信が可能となります。）
(1)ご家庭で設置しているWi-Fiルーター（モバイルルーター含む）に接続する。
(2)保護者やお子様がお持ちの携帯電話のテザリング機能を活用する。
※ご家庭ですぐに準備ができない場合は、学校または鹿嶋市教育委員会総務就学課までご相談ください。

3. ノートパソコンの故障・破損・紛失・盗難などのトラブルについて

- 故障や破損または紛失や盗難などが起きた際は、速やかに学校へ申し出ください。万が一、転売等が確認された場合は、法的手段をとることも考えています。

4. ご不明な点については総務就学課へお願いします。

- ご不明な点や相談したいことがありましたら総務就学課へお問い合わせください。
※ルーターの設置やテザリングの設定などの技術的な内容については、機種によって取り扱いが異なりますので、お近くの家電量販店などにお問い合わせください。

1人1台ノートパソコンにより鹿嶋市の教育が変わります。

①授業スタイルが変わります。

一般学習	「1人1台ノートパソコン」ではない環境	⇒	「1人1台ノートパソコン」の環境
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 教師が大型掲示装置等を用いて説明し、子どもたちの興味関心意欲を高めることはできる。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 教師は授業中でも一人ひとりの反応を把握できる。 子ども達一人ひとりの反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能。
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> 全員が同時に同じ内容を学習する（一人ひとりの理解度等に応じた学びは困難） 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 個人が同時に別々の内容を学習。 個人の学習履歴を記録。 一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能。
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> 意見を発表する子どもが限られる。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの考えをお互いにリアルタイムで共有。 子ども同士で双方向の意見交換が可能。 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる。

ICTの活用により充実する学習

- | | |
|------------|---|
| 1. 調べ学習 | 課題の目的に応じて、インターネット等を用いて、様々な情報を主体的に収集・整理・分析。 |
| 2. 表現・制作 | 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画などを用いた多様な資料・作品の制作。 |
| 3. 遠隔教育 | 大学・海外・専門家との連携、過疎地、離島の子どもたちが多様な考えに触れる機会、入院中の子どもと教室をつないだ学び。 |
| 4. 情報モラル教育 | 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加。 |

(GIGAスクール構想の実現へ（文部科学省）をもとに作成)

②ノートパソコンに入っているソフトの一例

4月よりノートパソコンの貸与が行われ、ICT機器を活用した授業を中心に進められていきます。その中でノートパソコンに入られているソフトをご紹介します。

- English 4 skills (イングリッシュフォースキルズ)**
 (1) これからの時代に必要な英語力が身につく。
 ・必須技能である「Listening (聞く)」「Reading (読む)」「Writing (書く)」「Speaking (話す)」を総合的に身につけることができます。
 (2) オンライン学習でもきめ細やかに指導できる。
 ・指導が難しく、フィードバックに時間がかかってしまう学習もリアルタイムでフィードバックができます。学校でも自宅でもどこでもきめ細やかな学習が可能となります。
 ・10段階のレベルチェックテストを行うことで生徒一人ひとりの理解度レベルを把握できます。
 ・英検についても、過去問や面接の流れ動画を用いた模擬演習が可能になり、英検に特化した学習も可能となります。

- Navima (ナビマ) (教科: 国数英社理)**
 (1) 問題を間違えた際やわからなかった際に使用できる「お助け機能」
 ・お助け機能があることにより問題を間違えたりわからなかったりしてもその問題を解説する動画などを見ることができ、子どもたちが自分で選び、自分のペースで学習することができます。
 (2) リアルタイムで子どもの進捗状況を把握できる「管理機能」の充実化
 ・クラスの習熟度が一覧で把握できる機能に加え、新たに授業中の子どもがどこでつまづいているのかリアルタイムで把握できる機能があるため、先生によるクラス全体の学習状況の確認が容易になるため、授業の効率化が図れます。



③黒板に加えて大型電子黒板が設置されます。

ノートパソコンの導入に伴い、鹿嶋市内公立小中学校の普通教室及び特別支援教室の全教室に1台ずつ設置します。電子黒板は、オンラインでの授業が行える他、書画カメラなどを使用してお手本を示したり、他の周辺機器を使用することで、更なる教育の発展につながります。

○電子黒板の特徴

- ①タッチパネル式で、画面上への書き込み等に対応。
- ②静止画や黒板では表現できない動画など音と映像を使った様々な授業資料の提示。
- ③準備した教材や前回の授業のまとめを瞬時に提示することが可能。
- ④インターネットの接続により、オンライン授業での活用が可能。(ZoomやGoogle Meetなど)



↑普通教室、特別教室に設置される電子黒板

④通信ネットワークの整備を進めています。

4月からのノートパソコンの導入に伴い、現在鹿嶋市内全公立小中学校の配線工事を行っており、その後アクセスポイントなどの機器を順次設置します。取り付け場所は、小中学校の普通教室、特別教室、体育館、武道館（中学校のみ）に設置して授業中にいつでも使用できるように進めています。工事の終了は3月25日（木曜日）を予定しており、4月から運用の予定です。



⑤アントラースキャリアデザイン教室が実施されました。

令和3年1月22日（金）、アントラースの小泉文明取締役社長が、「メルカリ代表取締役会長」として、大野中学校2年生を対象に、特別授業「キャリアデザイン教室」を行いました。

当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、東京のメルカリ本社と大野中学校をオンラインで繋ぐリモート授業となりましたが、鹿野中学校もオンラインで繋ぎ、同校の2年生も同時にライブ配信で授業を受けることができました。

この取組みは、「鹿嶋市における地方創生事業に関する包括連携協定」を締結しているアントラースの協力のもと実現したものであり、プロサッカークラブのパートナー企業関係者が公立中学校で特別授業を実施するのは、ほかのJリーグクラブでも例をみない初の試みです。

小泉さんは、自身の人生の出発点であるとする中学校時代から、担当案件の失敗で自殺も考えた大和証券SBC時代、取締役執行役員最高財務責任者（CFO）として企業部門全体を統轄していたミクシィ時代、そしてメルカリの経営に携わり、アントラースの取締役社長になるまでの道のりを語るなかで、「自分の将来を変えられるのは自分の意志と行動次第。だけど、すべてのことは一人では解決できない。成果を一緒に喜び合える仲間を大切に。」と述べ、子どもたちの関心を惹きつけていました。

今の子どもたちが社会で活躍するであろう10年後には、急速な情報化社会の進展によるグローバル化の影響により、さらに変化した時代となります。子どもたちが自立し、自身の手で未来を切り拓くには、学校生活での学びに加え、未知のちしきや体験に興味と関心を持ち、生涯にわたって学び続けたいという意欲をかき立てるきっかけが必要です。

教育委員会では、今後ともアントラースと協力し、子どもたちの社会への関心を高めるとともに、生涯にわたるキャリアを形成していく基盤を培う機会を提供していきます。





Let's study English in Kashima! To make your dreams come true!

(英語を勉強するなら鹿嶋市へ。夢をかなえよう！)



鹿嶋市は英語教育特区として、国際社会の中で通用するコミュニケーション能力の育成や、異文化理解の推進、国際化に対応できる人材の育成に努めており、そのために発達段階に応じた系統的な英語教育の充実を図っています。

就学前から各園にALTを派遣して英語に慣れ親しんでもらい、小学校1年生から外国語活動を始めます。小学校で培ったコミュニケーション能力をさらに発展させるため、中学校では、オールイングリッシュによる「コミュニケーション英語」を取り入れた授業を推進しています。

①鹿嶋市が目指していること

- (1) CEFR A1レベル相当以上(英検3級程度以上)の英語力を有する中学3年生(65%以上の人数)。
- (2) 自分で考え、伝え、行動できる子どもたちの育成。
- (3) ふるさと「鹿嶋」の魅力を英語で伝えることができる子どもたちの育成。
- (4) 英語の必須技能である ①Listening(聞く) ②Reading(読む) ③Writing(書く) ④Speaking(話す)の教育の充実。


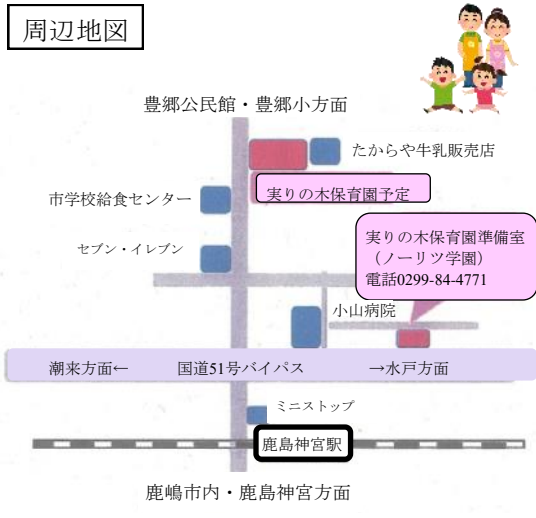
②実現するための取組む事業

- (1) 意図的な活用する場の提供(イングリッシュラウンジ、海外派遣事業、鹿嶋学園留学生英語交流など)
※感染症の状況によっては中止。
- (2) すべての中学校でオールイングリッシュのコミュニケーションクラスを実施。
- (3) 英語力を確かめるための場の提供(技能別の得意分野不得意分野を客観的に把握するため)の外部試験の導入(GTEC Coreなど)

教育委員会教育委員の辞令交付式が行われました。

令和3年1月5日(火)に鹿嶋市役所で鹿嶋市教育委員会教育委員の辞令交付式が行われました。この度、信楽 愼(しがらき あきら)氏が再任となり、なりました。平成25年1月に新しく就任されてから3期目となります。これからも引き続き鹿嶋市の教育に多大なる御支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年4月から実りの木保育園が開園します。

保育園名:	実りの木保育園 (みのりのき ほいくえん)	所在地の地図 
住所:	〒314-0030 鹿嶋市大字須賀1335番1	
電話番号:	0299-84-4771	
利用定員:	0歳児 3名 1歳児 6名 2歳児 6名 4歳児20名 5歳児20名 6歳児20名 計75名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>周辺地図</p>  </div>
保育時間:	標準時間 7:00~18:00 短時間 8:30~16:30	
延長保育:	標準時間 18:00~19:00 短時間 7:00~8:30 16:30~19:00 ※30分毎の延長に200円掛かります。	
保育料:	0~2歳児 所得納税額により決定。 3歳児以降 無料	
給食費:	3歳児以降のみ 月額6,000円 ※減免等あり	
保育方針:	<p>①子どもたちが安心して生活できる環境を整え、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、心と体を育む愛情あふれる保育を行います。</p> <p>②主体的な遊びや体験を通して、自ら考え、工夫する「学びの芽」を大切に育てていきます。</p> <p>③保護者と保育者、地域の方々と共に子どもの育ちを喜び合える保育園を目指します。</p>	